日本科学教育学会第38回年会特別企画

CSTとは … 地域の理数教育で中核的な役割を担う教員として活躍していただくため、一定の研修を積んだ現職教員が全国でこれまで約1000名認定されています。

小中学校教員研修会

全国のコア・サイエンス・ティーチャー（CST）から学ぼう

CSTによるワークショップ

～全国と埼玉県の10名のCSTが講師を務めます～

9:20～14:00　（30分，2会場各5セッション）

講師となるCSTとテーマ:

小学校理科

◇垣内浩・福井県越前市立武生東小学校
「小学校理科の授業のための提案～興味・関心を高め、持続させるためには～」

◇柿沼宏充・埼玉県羽生市立須影小学校
「不十分な科学概念の再構成を促す教授学習モデルの開発」

◇桑岡佳朗・長崎県長崎市立飽浦小学校
「遊び心のある教材の活用～5年生「もののとけ方」におけるカラー水溶液を使った学習を中心に～」

◇高橋健一郎・神奈川県川崎市立西有馬小学校
「「理科が楽しい」「理科が好き」という仲間が増えるためにCSTとしてできること～研究会や外部機関との連携を意識して～」

◇向山典宏・東京都瑞穂町立瑞穂第四小学校
「小学校理科授業におけるゲーミフィケーションの導入」

中学校理科

◇朝尾保彦・鹿児島県鹿児島市立西陵中学校
「小中9年間を見通した理科の指導について」

◇井形哲志・埼玉県上尾市立大石中学校
「ニボシの解剖をしよう」

◇谷津勇太・埼玉県八潮市立八潮中学校
「地域研修会の実践報告とその中の教材の紹介」

◇間所忠昌・滋賀県立琵琶湖博物館主任主事（中学校籍）
「教材研究の楽しさを伝えるCST活動」

◇山下雅之・埼玉県深谷市立上柴中学校
「火成岩の色の違いを、カラーサンドを使って体験的に学習する教材」

理科教材等の展示

10:00～15:00　（1階ホール）

～最新の理科教材やその使用法が学べます～

シンポジウム「理科を教える先生方をいかにサポートするか」

14:00～15:00　（2階講義室）

教員サポートについて各地のCST関係者と意見交換します

【参加費】　無料

【問合せ先】　SaitamaCST　事務局
cst@gr.saitama-u.ac.jp
TEL:048-714-2050

※どなたでもご参加出来ます。当日、会場前受付にて、お名前、ご所属をご記入の上、プログラム・資料をお取り下さい。

2014年9月15日（祝日）

9:20-15:00

（8:30受付 9:20開会式）

埼玉大学

総合研究棟2階講義室

当日は埼玉大学で「日本科学学会第38回年会」が開催されています

http://www.jsse.jp/jsseam/modules/note7/

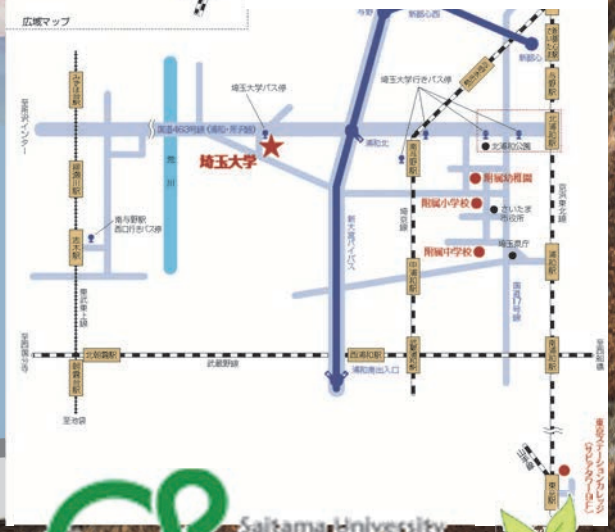
（但し学会発表会場への入場は有料です）

Saitama CST については

http://cst.saitama-u.ac.jp/

アクセス

埼玉大学所在地:埼玉県さいたま市桜区下大久保255
JR京浜東北線「北浦和駅」西口下車→バス「埼玉大学」ゆき（終点）
JR埼京線「南与野駅」下車→北入口バス停から「埼玉大学」ゆき（終点）
→西口バス停から「志木駅東口」ゆき（「埼玉大学」下車）、「埼玉大学」ゆき（終点）
東武東上線「志木駅」東口下車→バス「南与野駅西口」ゆき（「埼玉大学」下車）



Saitama University 埼玉大学

日本科学教育学会第38回年会（9月13～15日）

主催　一般社団法人　日本科学教育学会　　後援　文部科学省、　埼玉大学、　埼玉県教育委員会、　さいたま市教育委員会

年会実行委員会企画「全国のCSTから学ぼう」　共催　埼玉大学 Saitama CST事業、　独立行政法人　科学技術振興機構（JST）